

さやまの教育

元気な

さやまっ子



「さやまっ子教育の日」の取り組み

市では、11月の第2土曜日を「さやまっ子教育の日」と定め、市立の幼稚園と小・中学校で、公開保育や公開授業を行っています。



入間川東小学校では、児童と一緒に保護者も参加できる「東っ子まつり」を開催。この「まつり」は、1年生から6年生までの多学年でチームをつくり、自分たちで考えたゲームのお店を開くもので、多くの児童が心待ちにしている催しです。

当日は、入間川幼稚園の年長組の子ども達も参加。各チームは、上級生に導かれながら校内を回り、ペットボトルを使った「もぐらたたき」など、工夫を凝らしたゲームを楽しみました。また、担当したお店では、受け付けや声掛けなどを元気いっぱいに行い、全児童が一体となって「まつり」を盛り上げました。

里芋のおいしさの秘密を学びました(堀兼小学校)

11月16日(水)、堀兼小学校の5年生45名が、地元の若手農家団体のメンバーから地域の特産である里芋について学びました。



これは、学校と地域が連携して子ども達の教育に取り組むもので、堀兼は里芋の生産に適した土壌で、栽培方法の工夫や出荷時の丁寧な選別によって高品質な里芋が生産されていることや、廃棄されていた親芋の部分を生かして「さといもコロケ」が誕生したことなど、生産者の生の声に、児童たちは真剣に耳を傾けていました。

また、地域のボランティアの協力のもと、自分で育てた里芋で芋煮作りにも挑戦。「さといもコロケ」と一緒に味わい、地域で採れる里芋についての理解を深めました。



戸締り用心、火の用心♪

11月10日(木)／幼年消防クラブ防火パレード(水野保育所)

園児35名が法被姿で保育所を出発。拍子木を響かせ、元気な声で「火の用心の歌」を歌いながら、地域を練り歩き、冬を前に注意を呼びかけました。



元気に歌って、舞って。健康長寿の秘訣です

11月15日(火)／シニア芸能発表会(市民会館)



歌や太鼓、舞踊などを披露する一年に一度の晴れ舞台。一人ひとりが主役です。元気ハツラツとした発表に来場者からは、大きな拍手が送られました。

27年度さやま市民大学地域ジャーナリスト養成講座
修了生がお届けします

さやま・レポート(子育て②)



創立35周年を迎えた狭山台児童館。虹の絵とかわいいお花に飾られた入り口を通り、館内に入ると秋祭りの開催日で、未就学児を連れてお母さんや友達と一緒に来た小学生など、多くの皆さんで賑わっていました。

この日は、児童館職員の手作りによる狭山茶を題材にしたオリジナルの絵本「夢をかなえるお茶屋さん」も初披露。茶娘姿の職員が映像に合わせて朗読し、夢や希望がたっぷり感じられる、不思議なファンタジーの世界に引き込まれた子ども達の目はキラキラと輝き、周りの大人たちも温かく幸せな気分になりました。

全国で唯一の児童館合唱団もある、毎日楽しい行事がいっぱいの狭山台児童館。皆さんも遊びに出掛けてみませんか。

◆狭山台児童館(中央3-3-31) ☎2958-7407
休館日館内清掃日(年3回)と年末年始
駐車場5台

歩いて食べて触れ合って、狭山の秋を満喫

11月19日(土)／狭山 茶の里ウオーキング・狭山市農業祭(市内各所)

自然豊かな入間川沿いを中心に5kmと8kmを歩く健康ウオーキング。市内外から約700名が参加し、晩秋の風景を楽しみながら、市民団体などの「おもてなし」を堪能しました。コースの途中には農業祭も開催され、狭山の魅力を体感する一日となりました。



ハイタールの喜びを子ども達と分かち合います



「柏原おもてなし会場」の模擬店で一休み

農業祭のシンボル「豊作丸」
秋の豊穰を祝います



柔らかな光で包むキャンドルナイト

11月5日(土)／入間川冬まつり2016(狭山市駅西口市民広場ほか)

狭山市駅周辺の5つの会場は、約25,000個のろうそくの灯と市内4つの高校が制作したキャンドルアートに彩られ幻想的な空間に。来場者は、ご当地グルメに舌鼓を打ったり、生演奏の音楽を楽しんだりしながら会場を巡り、冬の足音を感じていました。



人気を集めた同時開催の「キャンドリング甲子園」

ひとまち写真館

あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

心に響く珠玉の作品を残した狭山の詩人 (吉野弘遺作展実行委員会主催)

11月11日(金)～17日(木)／吉野弘遺作展(市民交流センター)

全国的にも有名な詩人の故・吉野弘氏。狭山で過ごした35年間で、結婚披露宴のスピーチでよく読まれる「祝婚歌」をはじめ、多くの作品を創作されました。ふるさと狭山で初めて開催した遺作展に、2,000人を超える愛読者が来場し、作品の世界に浸りました。



原稿やスケッチ、愛用の文房具など約180点を展示

伝統的な日本のお茶文化を狭山から発信

11月13日(日)／さやま大茶会(狭山稲荷山公園)

澄み渡る秋空のもと、多くの来場者で賑わった大茶会。今年も、フランスやサウジアラビアの大使館関係者も訪れました。常緑の松に赤い野点傘が映える茶席で、狭山の抹茶「明松」や玉露「伊利麻路」を味わった来場者は、優雅なひとときを過ごしていました。



和の雰囲気にもまれた会場でお点前を楽しみました